

# Matsunami

2025年 年頭に当たり 謹賀新年

まつなみ



社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院 介護老人保健施設  
施設長  
平山 宏史

新年明けましておめでとうございませう。本年も皆さまにとって幸多き年になることを心よりお祈り申し上げます。  
さて新型コロナウイルスの流行からほぼ5年が経過しましたが、

現在も高い感染性を保持して流行を繰り返しております。高齢者施設等においては引き続き十分な感染対策が求められ、当施設においてもご家族さまとの面会制限などご不自由をおかけしておりますが、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。当施設は利用者さまの心身機能の維持回復と在宅生活への復帰支援を目的とし、健やかな生活を送ることが

できるよう各専門スタッフが丸となって取り組んでおります。また、在宅生活復帰後の支援のために通所リハビリテーション部門も併設し、当法人設置のまつなみケアアクトセンター、訪問看護・介護ステーション、訪問リハビリテーション事業所とも緊密に連携をとり、より質の高いサービスの提供に努めてまいり所存でございますので、今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



社会医療法人蘇西厚生会  
まつなみ健康増進クリニック  
クリニック長  
花立 史香

新年明けましておめでとうございませう。  
当院は羽島郡にあるクリニックとして、羽島郡のみならずより広い地域の皆さまの

健康を支える医療を提供しております。近年、地域住民の高齢化が進み、医療ニーズがますます多様化しています。このような状況を受け、当院では在宅診療を本格的に開始し、ご自宅でも安心して医療を受けられる体制を整えます。また、新築の建物で人間ドックの規模を拡大し、予防医療をさらに充実させることで

地域住民の健康維持に貢献してまいります。さらに、足腰の健康を保つためのジムを新設し、運動機能の維持や体力向上をサポートする取り組みを始めます。  
本年も地域に根ざした医療を実現するべく、スタッフ一同全力で取り組んでまいります。よろしくお願ひいたします。



社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院  
看護本部長  
伊藤 妙登美

新年明けましておめでとうございませう。謹んで初春のお慶びを申し上げます。  
昨年は病院機能評価の受賞地域がん診療連携拠点病院の認定など、病院全体で大きな目標を達成することができました。これもひとえに、地域の皆さま、

関係機関の皆さまの温かいご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。  
看護部一同も、これらの目標達成に向けて組織一丸となつて取り組んでまいりました。特に1月1日に起きた能登半島地震への支援経験から災害拠点病院としての役割を改めて強く認識し、災害支援チームの育成や、地域の皆さまに向けた防災訓練の実施など、災害発生時にも地域に貢献できるように準備をすすめていきたいと

考えています。  
また、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症、マイコプラズマ感染症と季節に関係なく流行していますので、病院内では感染防御対策を継続的に実施し、面会時におかれましてはマスク着用・手指衛生等に関して、ご協力をお願いいたします。  
今後とも患者さんの思いに耳を傾け、その意向を尊重した看護の提供に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## まつなみ Information

### 当院をご利用される皆さまへ、 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

ご来院される前に、下記QRコードから詳細をご確認ください。  
引き続き、多大なご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各お知らせの詳細は、右のQRコードよりご確認ください。



### 松波総合病院柔道部のご案内

笠松中央交流センターにて、下記の日程で練習会を行っております。経験者はもちろん、柔道未経験の方でも基本からお教えますので、ご家族・ご友人などお誘いあわせのうえ、柔道場へお越しください。見学だけでも大歓迎です。

日時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時40分～19時10分	場所	笠松中央交流センター 1階 多目的室 柔道場	連絡先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井 ※参加される方は、事前にご連絡ください。
----	-------------------------------------	----	---------------------------	-----	---

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院 理事長  
松波 英寿

新年明けましておめでとうございませう。心からお慶び申し上げます。  
さて、我が国を取り巻く世界情勢は日増しに悪くなっています。米国ではトランプ大統領が再選を果たし、ロシア、中国は民主主義ではないイデオロギーにより独裁国家の様相が強くなり、それに伴い、台湾、韓国の地政学的リスクは日に日に悪化しています。

日本のGDPが4位に落ちたことはあまり報道されていませんが、間もなくインドに抜かれて5位となる見通しであり、斜陽国の様相が一層顕著化すると思われまふ。そのような厳しい経済状態で、医療・介護の診療報酬改定の伸びは、多少はあったものの、物価高騰にははるかに及ばない状況です。現在、医療介護の従事者は、ボランティア精神で仕事をしているといっても過言ではありません。また、湯水のごとく公立病院に投入されていた補助金も、今後急速に削減され、国立大学でさえ存続の危機にさらされると思われます。  
さて、そのような経済状況のなかで、あまり補助金を受けられない私立の我々ほどのように立ち向かったらよいのか？知恵と工夫と努力しか解決策はありません。

当たり前のことですが、収入を多くして支出を削減する。すべての家庭(最小の社会)で当たり前に行われていることを、私たちの社会「蘇西厚生会

でも行わなければならないかもしれません。そのために行うべきことをすべて実行しなければなりません。小さな努力の積み重ねは大きな利益を生みます。  
また、他の人が行っていない事を先んじて実行しなければなりません。  
2024年は地域がん診療連携拠点病院の取得、地域医療連携推進法人の認定を果たしました。2025年は全国で初めての試みとなるペットとともに入院できる病棟の開設、救命救急センターの取得を目指したいと思ひます。さらに4年後の看護大学の開校に向け、本格的に準備を開始します。新しいことを行うときに、ネガティブな意見が出るのは世の常です。しかし既成観念をはねのけて、住民・患者さんが望まれていることを行うことは正しい行為であると思ひます。羽柴秀吉の軍師であった黒田官兵衛が、織田信長が明智光秀の謀反にあつた際に語つた言葉の一つに「草履方々、木履(下駄のこと)方々」があります。いざチャンスというときには、準備が十分整っていないくても、すなわち右足に草履、左足に下駄であっても、駆け出さなければならぬという教えです。ピンチはチャンスともよく言われます。現在私たちにのしかかっているピンチはすべての医療・介護機関にのしかかっているピンチです。まさに今、そのピンチを知恵と工夫と努力で、チャンスに変えるのです。

皆さん本年も自分を大切に、家族を大切に、蘇西厚生会の職員(社会)一丸となって頑張っていきたいと思います。  
よろしくお願ひ申し上げます。

### 理念

私たちは、地域中核の社会医療法人として地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

### 基本方針

- ・私たちは、医療における安全を重視し、患者様中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。
- ・私たちは、患者様や利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。
- ・私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1  
TEL:058-388-0111(代)  
FAX:058-388-4711  
https://www.matsunami-hsp.or.jp

### LINE

公式アカウント始めました!

友だち登録お願いします!

追加方法① ID検索 「友だち追加」から「@120mghg」で検索してください。

追加方法② QRコード 「友だち追加」から上記のQRコードを読み込んでください。



社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院 病院長  
松波 和寿

新年明けましておめでとうございます。2025年も、皆さまにおかれましては健康で幸せな一年でありますよう、祈念いたします。当院は昨年4月に厚生労働省の「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、がん診療体制の強化を図っています。また、地域医療の充実を図るために、当院と海津市医師会病院、美濃市立美濃病院で、地域医療連携推進法人「美濃国地域医療リネージュ」を4月に立ち上げ、医療圏を越えた医療体制の構築を始めました。

本年においては、6月に新館(西館)が完成予定です。最新式のがん放射線治療装置を導入し、人間ドック・健診センターを現在の約2倍の面積に拡大して移設します。更に生活習慣病患者らに健康指導を行う「フィットネスクラブ」も開設します。医療費控除を活用でき、医師の運動処方せんに基づいた運動療法を行います。治療医学だけでなく、予防医療にも力を入れて取り組み、地域の皆さまの健康を支えていきます。

さて、当院では4つの3ヶ年ビジョンを掲げ、常に念頭に置きながら、日々の診療にあたっています。  
・「地域包括ケアシステムの要として、日本の民間病院になる」  
・「誇りを持って働ける職場になる」  
・「選ばれる病院になる」  
・「全職員が志を同じくし、常に変化を組織になる」  
地域中核の社会医療法人として、地域の皆さまの健康をお守りするために、全職員が一丸となって、当院が果たすべき役割を担ってまいりたいと思っております。



社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院 病院長代理  
鶴見 寿

新年明けましておめでとうございます。まずは、地域住民の皆さま、医療関係の皆さま、職員の皆さまにとって、より良き年になることを心からお祈り申し上げます。

本邦では、依然として新型コロナウイルス感染症 COVID-19に加え、インフルエンザ感染症やマイコプラズマ感染症なども猛威をふるっており、医療現場では院内感染を防止するためにも、まだまだ気が抜けない状態です。

さて、羽島郡、岐阜市の南部地区あるいはその周辺の住民の皆さまにとって、住み慣れた地域で、老若男女の全ての方が安心して暮らすには、地域で支え合うことができる充実した医療体制の整備が望まれます。本院は、2024年4月に「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、さらに同年12月には、「がんゲノム医療連携病院」にも指定されました。心臓病や脳血管疾患などの生活習慣病同様にがんは日本人にとって極めて重要な疾患であり、我々は患者さまに寄り添った質の高い安心・安全ながん医療を提供できるように体制を整備してまいりましたが、今後さらにその向上に努力したいと思います。



社会医療法人蘇西厚生会  
特別顧問  
森脇 久隆

明けましておめでとございます。皆さまに本年のご多幸をお祈り申し上げます。

さて私どもを取り巻く社会状況は少子高齢化や環境問題など厳しさを増しており、医療も例外ではありません。そのような中でも社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院は地域の中核病院として高度医療、救急医療をはじめ広くすぐれた医療・サービスをもって社会に奉仕すべく、一層の高みを目指して邁進してまいります。実際、新しい建物(西館)が建築中であり、鉄骨を見た



社会医療法人蘇西厚生会  
松波総合病院 特別顧問  
富田 栄一

新年、明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、希望の新春を迎えられ、今年が健康やかに暮らせる一年になられますよう心より祈念いたしております。

昨年は、正月早々に能登半島地震・航空機事故などがあって暗い一年の始まりでしたが、一方では大谷選手の活躍など、明るいニュースもあつたかと思えます。私たち医療界ではコロナ禍はまだ続いており、病院内では感染対策は欠かせませんが、

だけでも従来より大規模な(各フロアの天井が高い)構造が見て取れます。これは最新のがん放射線治療機器や、近年特に注目を集めているフレイル・サルコペニア対策のフロアを収容するため、私共が提供する医療サービスが大いに拡張されることとなります。その準備として2024年には地域医療連携推進法人の設立、地域がん診療連携拠点病院の指定獲得などの基盤整備を行いました。

また、高度医療を展開するためには学術を含めたマインド設定が不可欠ですが、2024年には文部科学省科学研究費補助金の獲得もあり、一方、国際的な米国ニューズウィーク誌「世界のベスト病院」ランキングで、日本全国から選出された200病院中184位(2023年は188位)にアップしました。このように様々な評価で実力を証明しながら2025年も前進してまいります。どうぞご指導ご鞭撻をお願いいたします。

社会生活としてはコロナ前に戻りつつあるように感じております。ただ、昨年はマイコプラズマ肺炎など子供中心の感染症が増えたり、検診数や発見される疾患が増えたりしておりますので、当院が果たす役割は益々大きくなってきていると考えております。さらに、4月からは地域がん診療連携拠点病院の指定を受けましたので、がん診療の中心的役割を果たす必要があり、最新の放射線治療装置の導入や運動療法との連携など、更なる医療の進歩を取り入れながら、地域の皆さまの健康を守るために進化していくことが最も大切であると思っております。当院は、職員が一丸となってそのように努力していますので、身近な病院として気楽に来院され、遠慮なくご相談いただければと思います。

			(50音順)		


本年もよろしくお願ひいたします